

Ankerフロントタウン生田

「川崎フロンターレ健康長寿フェスタ2023 人生100年時代～こころも体もハッピーライフ～」体力測定

日時 令和5年9月18日(月)

場所 Anker フロントタウン生田

参加所員 佐藤 満、飯田 義明、齋藤 実、富川 理充、李 宇諤、相澤 勝治、柏木 悠

○ Ankerフロントタウン生田

生田浄水場跡地に総合型スポーツ施設がオープンした。この施設は川崎フロンターレが指定管理者として運営が委託されたことから「フロントタウン生田」との名称が用いられ、アンカー・ジャパンがネーミングライツを取得したことから「Ankerフロントタウン生田」として、2023年3月25日(土)にグランドオープンした。

Ankerフロントタウン生田の施設は、東京ドームの敷地面積よりも広い約48,000㎡にもなり、そこにサッカーコート2面、インドア・アウトドアテニスコート、ジョギングコース、室内アリーナ、室内スタジアムや子どもが遊べる生田ふれあい広場が設置され、子どもから高齢者ま

で幅広い年齢層が利用できるスポーツ施設となっている。また、川崎フロンターレ下部組織のトレーニング施設や食堂、ミーティングルームなども管理されている(写真1)。

○ KSパートナーシップ・プログラムにおけるスポーツ研究所の地域貢献

2001年、専修大学と川崎市は、大学と自治体の役割を相互に認識し幅広い学問を通して学術活動を有機的に連携し、相互に地域社会に貢献することを目的に、「KSパートナーシップ・プログラム」として相互連携の覚書を交わしており、その後は2008年からの「専修大学と川崎市との連携・協力に関する基本協定」へ引き継がれ、現在もその協定のもとさまざまな連

携プログラムが行われている。スポーツ研究所においては、川崎市における様々な地域貢献事業をKSパートナーシップ・プログラムと位置付けて活動を行っており、これまでに中年のためのスポーツ公開講座、シンポジウム、ジュニア期を対象としたスポーツ教室等を展開、また川崎市のスポーツ関連のイベントにおける支援を行っている。

○ Ankerフロントタウン生田における「健康長寿フェスタ」への協力

川崎フロンターレでは、健康をテーマとした体験型イベントとして「健康長寿フェスタ」を企画し、富士通スタジアム川崎やフロントタウンさぎぬまに続き、本年度はAnkerフロントタ

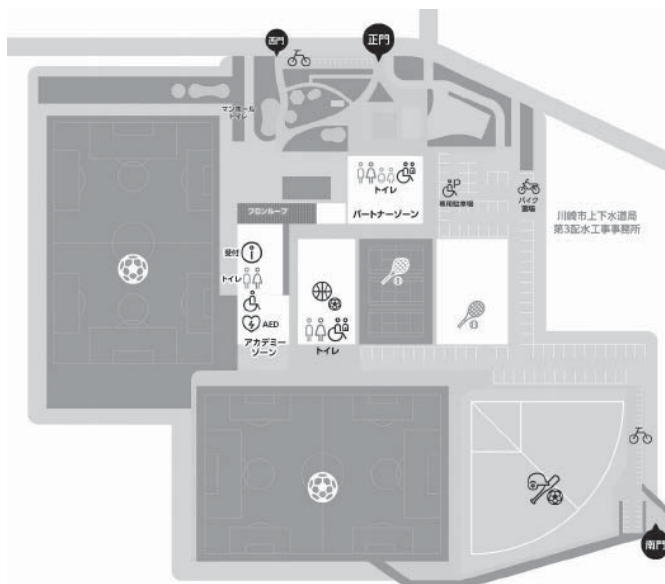


写真1: Anker フロントタウン生田 施設



写真2: 川崎フロンターレ健康長寿フェスタ2023

生田においても開催することとなった。それぞれ、富士通スタジアム川崎では川崎幸病院が、フロントاونさぎぬまでは國學院大学が協力をしたが、Ankerフロントاون生田では、同区にある専修大学に体力測定企画への協力依頼があり、研究所として参加をすることとなった。

○「健康長寿フェスタ」

本イベントは、
・ご自身の「健康」に気づく・発見する

・気がついたら「健康」になっている
・世界一安全なイベント
が目的である。

Ankerフロントاون生田のフェスタは、9つのプログラムが企画され(写真2)、スポーツ研究所は、体力測定ブースを実施した。体力測定の項目は、身体組成、骨密度、ヘモグロビン測定、全身反応測定、椅子立ち上がり測定、歩行測定の6つの測定を実施した(写真3)。会場では、測定結果をすぐに参加者にフィードバックができる様に解説のポスター掲示などを設置して工夫した。同年代とのデータ比較や、自

分の歩行速度から自分の余命が推定できるなど本イベントの目的に沿った工夫が施された(写真4-6)。当日は、午前中だけの開催であったが、約160名以上の参加者が体力測定ブースに立ち寄り、所員に測定データの質問をするなど自身の健康について考える機会となった(写真7,8)。

本フェスタへの協力は、川崎市と専修大学の連携の一部として行われたが、今回の協力を機会に、今後本施設を用いたスポーツイベントおよび教育研究活動など様々な地域連携の展開が期待される。



写真3: 体力測定ブース



写真4: ヘモグロビン測定の様子



写真5: 骨密度測定の様子



写真6: 身体組成測定の様子



写真7: データフィードバックの様子



写真8: フロンターレマスコットふるん太も測定



写真9: 測定スタッフ、ボランティア学生集合写真